

留萌市議会だより

# 議会です、 こんにちは

## ◇ 主な内容 ◇

こんなことが決まりました  
市政のここが聞きたい  
委員会活動  
傍聴席  
編集後記

## こんなことが決まりました

第4回定例会(12月7日から12月15日)で決された議案等(11件)意見等(13件)の主なものは次のとおりです。

議案	意見書
平成16年度留萌市一般会計補正予算(第4号)	高齢者虐待防止法の制定を求める意見書
平成16年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書
平成16年度留萌市老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書
平成16年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	日米地位協定の抜本改正を求める意見書
留萌市農村交流センター設置条例の一部を改正する条例制定について	自然災害による被災住宅本体への再建支援制度の確立を求める意見書
留萌市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	消費者の権利を保障するため消費者行政の充実を求める意見書
留萌市固定資産評価審査委員会委員の選任について	「障がい者差別禁止法(仮称)」の制定を求める意見書
留萌市固定資産評価員の選任について	少人数学級編成の全国的な制度化を求める意見書
留萌市過疎地域自立促進市町村計画(平成17年度～平成21年度)について	政治資金規正・透明化推進を求める意見書
	警察不正経理疑惑の徹底解明と信頼の回復を求める意見書
	高速道路の無料開放を求める意見書
	社会福祉制度改正に関する意見書
	平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書
	<b>報 告</b>
	専決処分の報告(損害賠償について)8件

## 市政のここが聞きたい

## 一般質問

**市民連合**  
野崎良夫議員  
一、留萌市立病院の経営について

一、二〇〇三年度決算で、九億二千万円の不良債務が生じ、二〇〇六年には、診療報酬の改定が大がかりなものになることが予想されている。  
その状況下で、二〇〇六年度診療報酬改定に対する医療体制と病床の再編及び、健全化計画の検証と見直しはどうか。  
未収金については一億三千万円もあり、その解消のための対策はどうか。  
二〇〇七年に定年退職される院長において、一〇年後の生き残り戦略を策定し、次代につないでいくべきだ。

### ◆坂本議員への答弁

一、現状としては数項目を残してまとまっている。三市町の意見の違いについて歩み寄れるか話し合いを続けていく。両町長との会合は頻繁に行っているがそれぞれが背負っているものが大きく、地域の意見が割れている。首長の意見だけで出来るものではない。期限内に結論が出せるか早いうちに両町の首長と話し合いをするつもりだ。ただし、行政サイドだけでは解決しないので、住民からのバックアップや議員の相互理解などの後押しがあればありがたい。  
市長のリーダーシップが発揮されていないと言っ批判があるが出来るだけの努力はしている。

**萌芽クラブ**  
石塚正寛議員

一、行政運営の検証  
二、中心市街地活性化計画の検証

一、事務事業の実施や事業評価を行う際にはその成果や効果を数値化して検証してはどうか。部長によるプレゼンテーション(事務事業の発表)の模様を職員や市民に公開してはどうか。事業を廃止する場合に住民への影響をどう配慮するか。導入から四年経った職員の目標管理システム

### ◆野崎議員への答弁

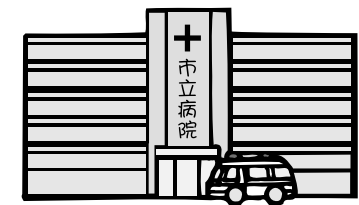
一、不良債務の要因として、入院期間の短期化やその他の理由により病床の稼働率が低下している。年間を通じ九割以上の利用が望ましいので病床管理委員会を設置しようと考えている。二〇〇六年の改定を前に亜急性期入院病床などの利用も視野にいれ、再度健全化計画の見直しをする。  
未収金対策として、市民に状況を理解してもらい常習者には分納や利用制限も考えられる。有効な対策を講じたい。今後は、医師確保のために各種の環境整備をしていきたい。管内の病院と連携を取りながら、検診機能も含め、幅広い医療を目指す。

### 萌政会

江沢順次議員

一、市町村合併について  
二、診療報酬改定に向けた病床編成の検討について

一、任意協議会、法定協議会ほどの様な経緯で設置されたのか。首長は合併について意見を表明すべきと思うがどうか。協議会で資料を作成し住民に判断してもらおうと言っているがどの様なスケジュールで行うのか。  
二、病床編成とは具体的にどのような病床診療体制なのか、また、導入についてどう検討



定期的なプロジェクトで検討を重ねていく。

### ◆江沢議員への答弁

一、平成十四年六月合併問題研究会を作り、その後南部で分科会を設置した。合併を前提としない協議会を作り、住民が判断できる資料作りをし、広報誌などでお知らせしてきたが、理解度は高まっていなかった。十二月七日に住民懇談会を開催したが今後は出前トークなどで市民にアピールする。  
二、平成十八年の改定までに地域ニーズに合った病床編成にしていける。地域医療連携は管内どこでも標準的な医療が受けられるようになることが重要である。  
情報の共有や交流、信頼関係の構築が必要と考え現在取り組んでいる。機能評価については、

### 萌芽クラブ

村山ゆかり議員

一、合併協議とこれからのまちづくり  
二、陸上自衛隊留萌駐屯地存続のための地域の取り組み

一、合併協議会で新市の名称議員選挙区についての議論は市民の意思を把握しての論争とは思えない。議論を進める手立てはないのか。  
三市町の住民が広域連携について理解を図るため、広報誌を通じて情報の共有化などは検討できないか。  
今後の住民説明会にどう取り組むのか。合併が難しいと判断した場合新市計画のまちづくり構想を進める考えはあるのか。  
二、留萌駐屯地が地域に果たす役割は大きい。経済、地域振興への影響力をどのように考えているか。自衛隊の必要性について理解してもらったための啓発活動をしてはどうか。

### ◆村山議員への答弁

一、利害関係や感情の問題を入れずに初心に戻って相互理解を住民レベルでしていくことが重要と考える。広域化と合併は別問題であるが、広域連携はコスト面で充分効果がある。情報の共有化については、事実関係の認識の難しさはあるが今後も努力をしてい

### 市民連合

坂本守正議員

一、留萌市としての合併に対する取り組みについて

一、今日までの小委員会の現状認識、また九回開催された法定協議会の現状をどう認識しているか。市長として両町長の考え、思いをどのように押さえているか。  
各小委員会等の議論経過から判断して、期限内に結論が出る状況にあると思うか。  
財政状況がきわめて厳しい状況下、合併あるいは自立の方向を選択するにしても今後市民に対し説明会などを通して理解を深める努力が一番大事である。行政をリードする首長として、政治家として政治生命を賭ける覚悟でリーダーシップを発揮すべきではないか。



合併 自立

の運用状況とその課題をどう認識しているか。

◆石塚議員への答弁

一、数値化は有効な手段であり検討したい。プレゼンの公開には、現段階では成熟していない。今後十分検討する。



がリード役を果たすべきだと思つている。いろいろ働きかけをしたい。

萌政会

珍田亮子議員

一、子ども政策について  
二、食の安全・安心について

一、子育て支援は親支援の実施を含めて取り組むべき、その考え方を知りたい。

次世代育成事業計画の官民協働体制のファミリーサポート事業の詳しい取り組み内容を知りたい。

文科省が平成十九年度より導入しようとしている特別支援教育の留萌市の取り組み方針を聞きたい。

二、子供のアトピー・アレルギー、農薬、添加物、悪質な偽造表示、牛の耳標問題が発生している。食の安全・安心の認識、取り組みはどうか。また、遺伝子組換え作物の見解を聞きたい。

◆珍田議員への答弁

一、庁内の子どもみらいチームで今後議論をし、具体的な政策立案を行なう。サポート事業は二つの団体が一時的に保育を行なっている。今後は行政と民間の役割分担を明確にし、次世代育成支援計画に盛り込むか検討したい。

支援教育については、担当者が研修を受けている。今後は校内での研修や委員会の設置、コーディネーターの指名、近隣施設との連携、支援体制の整備の充実が必要である。青少年プランの推進のためネットワークづくりを考えている。

留萌公明党 天谷孝行議員

一、新財政再建計画の策定について  
二、防災対策の改善について

一、新しい財政再建計画の策定年度は何年度から何年度か。この計画に国が進める三位一体改革はどの様に影響するのか。行財政改革の更なる踏み込みが必要だと思つた。重点項目は何か。人件費の削減も避けられないと思つた。事務事業の見直しはどうか。事務事業の見直しはどうか。市民負担の見直しはどうか。自主自立のために市民と協働の街づくりが必要だ。

委員会活動

総務文教常任委員会  
民生常任委員会  
産業・建設常任委員会

◆総務文教常任委員会

平成十二年度の「過疎地域自立促進特別措置法」によって策定された「過疎計画」の前期計画が平成十六年度で終了することに伴い、新たに後期計画を策定する旨の報告など、各所管より左記のような説明を受けた。

〔十一月四日開催〕

〔企画財政部〕 後期過疎計画の策定について  
〔教育委員会〕 三泊小学校の統廃合問題について

〔総務部〕 自主防災組織設立に向けた取り組みについて  
市税等の収納状況及び強調月間の目標について  
公契約・総合評価競争入札について  
〔企画財政部〕

◆民生常任委員会

平成十六年度一般会計補正予算(案)について  
留萌市過疎地域自立促進市町村計画の策定について  
まちづくりパシヨントーク(合併懇談会)の開催について  
〔教育委員会〕 平成十七年度留萌市成人式実施要項について

〔十月十八日開催〕

〔生活福祉部〕 留萌市児童館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について  
留萌市潮静児童センターの開設等について、及び視察

〔生活福祉部〕 平成十六年度一般会計補正予算(案)・介護保険会計補正予算(案)・国保会計補正予算(案)・老人会計補正予算(案)について  
留萌市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について  
支援費支給事務取扱規則の一部を改正する規則について  
留萌バイオマス処理センター(株)塩見工場について  
看護師通信制教育施設(留萌学習センター)の進捗状況について  
次世代育成支援アンケート

◆産業・建設常任委員会

〔都市環境部〕 都市整備課から、台風災害復旧に関する十二月補正予算案について、及び、平成十六年度の除雪計画について説明があった。

〔十一月二十九日開催〕

〔経済交流部〕 経済振興グループより空店舗活用助成事業について説明があった。

〔経済交流部〕 経済振興グループより空店舗活用助成事業について説明があった。  
サハリン留萌展事前調査とロシア客船留萌寄港試験事業結果についての行政報告の説明があった。  
港湾課より、台風災害復旧に関する補正予算案について説明があった。  
委員会閉会后、旧長崎屋後に平成十六年十月に開設された道営競馬場外発売所の視察を行った。

傍聴席

北海道留萌千望高校 一年生

・裁判所みたいでステキだった。なんか逆にこわかった。市立病院の話をもっと聞いてみたかった。  
・初めてだったから中を見て勉強になった。色んな席があった。よかったよ。  
・思っていたよりも狭かった。議会だからもっとすくく感じそうなのに思ってたけど、議員の人も笑ってたりとか面白い事を言ったりとか意外だった。  
・こういうのを聞きに行くのは二回目。難しい話をしていたけれど、時々笑ったりしていた。  
・むずかしい話ばかりだった。よくわかんなかった。市立病院の話をしてた。  
・留萌市について熱く議論する大人達はとても輝いていました。  
・会場が意外と狭いと思った。いない議員の人がいた。換気した方がいいと思う。  
・議員の中にとってもたるような人がいた。質問者の市立病院ではなく、市立病院をめぐすというのが感動した。  
・立って見ていると足がだるくなつてあまり話を聞いていられなかった。病院の医師が足りない事はわかった。  
・市役所職員の人達が留萌の事を覚えていてこつと必死だった。  
・頑張つて留萌をもっと良い町にして欲しいです。  
・すこし緊張感があった。いい経験でした。  
・話しあっていることがあまり良くなかった。ただときどき人と話して成り立っているんだなと感じた。  
・分かりやすい話が多かった。  
(生徒の感想文より抜粋)



伝達もスムーズでは無かった。防災マニュアルの改善が必要だがどの様な見直しを考えているのか。改善作業はいつまでに完了し実効性の有るものにするのか。

◆天谷議員への答弁

一、十七年度から十九年度を重点期間とし、三位一体の推移や財政移譲の状況や景気を見極め毎年度変化させる。

職員数の削減も含め、人件費は十一年度から年間五億近く抑制している。事務事業の見直しは市民生活に影響が及ばないところから手をつける。二、防災マニュアルは避難勧告の発令基準を整理する。自主防災組織の立ち上げに向けて各町内会の住民説明会を行なっている。情報伝達は各町内にいる市職員をパイプ役として避難所の対応等も行ないたい。三月頃には関係機関との協議を終え出来るだけ早く策定し、五月に予定している各町内の防災担当会議などでしっかりと周知したい。

公職選挙法における「補欠選挙」について

昨年11月に梅沢文敬議員が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。現在留萌市議会議員は1名の欠員が生じていますがここでこの取り扱いについて説明します。公職選挙法第113条では、「議員定数の1/6を超える欠員が出た場合は50日以内に補欠選挙を行わなければならない」とありますが、現在の欠員は1名(1/6以下)ですから「地方公共団体の他の選挙が行われるとき補欠選挙を実施する」と決められています。具体的には、通常であれば来年3月9日の任期満了によって実施される「留萌市長選挙」の際、一緒に行われることとなります。

Table with 2 columns: Position (委員長, 副委員長, 委員, 委員, 委員) and Name (石塚正寛, 村上均, 珍田亮子, 江沢順次, 菅原千鶴子, 松本衆司)

編集後記

昨年は、台風18号や年末の地震などに見舞われ、市民の皆さんにとってはつらく厳しい思い出ばかりの1年でした。今年は、少しでも明るい話題を提供できるようになればと願うばかりです。ところで、市議会だよりは、以前広報誌「るもい」とは別の冊子として皆さんのご家庭にお届けしていました。しかし「一冊にして保存管理したい」との要望を受け、昨年5月より広報誌「るもい」に間借りして発行してきました。皆さんに読んで頂き、また活用して頂けることを一番の目的として編集作業に当たっていますが、「議会だより」としての独自性を保ちながら、より充実した紙面となるよう皆さんのご意見やアイデアなどお寄せ頂けますならありがたいと思います。(石塚 記)